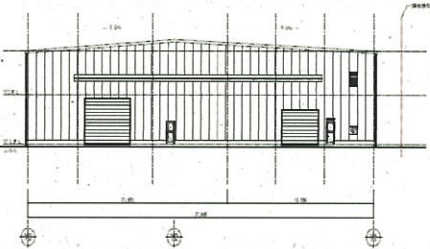


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

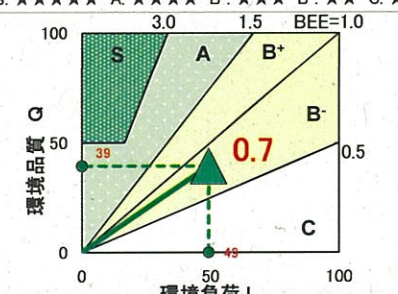
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アスカ紙工加須工場 新築工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県加須市騎西字高道564-3	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	220 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2020年04月10日
敷地面積	2,834 m ²	作成者	中山 宗之
建築面積	1,606 m ²	確認日	2020年04月18日
延床面積	2,255 m ²	確認者	黒岩 健太



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

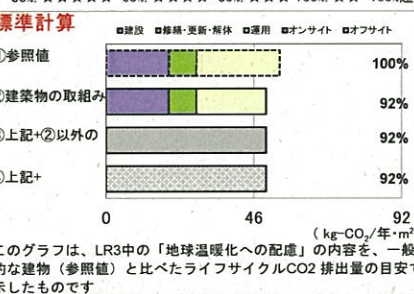
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

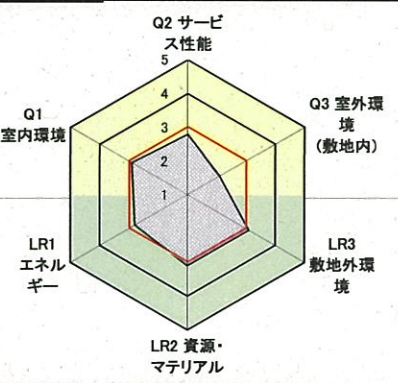
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

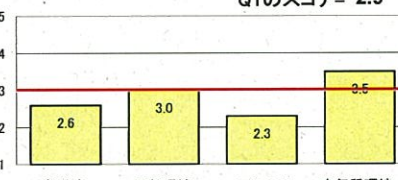


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

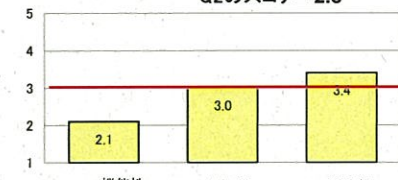
Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9



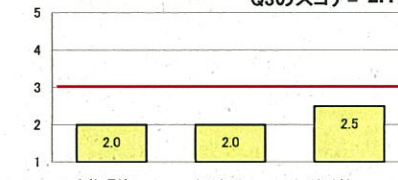
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8



Q3 室外環境(敷地内)


Q3のスコア = 2.1



LR のスコア = 3.0


LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8




LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1



3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して92%。
Q2 サービス性能	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。 階高: 4.300 m, 4.885 m。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
アスカ紙工加須工場 新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境						0.30			2.9
1 音環境					2.6	0.15			2.6
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.40			
1.2 遮音					3.0	0.40			
1 開口部遮音性能					3.0	0.60			
2 界壁遮音性能					3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-			
1.3 吸音					1.0	0.20			
2 温熱環境					3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御					3.0	0.50			
1 室温					3.0	0.50			
2 外皮性能					-	-			
3 ゾーン別制御性					3.0	0.50			
2.2 湿度制御					3.0	0.20			
2.3 空調方式					3.0	0.30			
3 光・視環境					2.3	0.25			2.3
3.1 昼光利用					1.8	0.30			
1 昼光率					1.0	0.60			
2 方位別開口					-	-			
3 昼光利用設備					3.0	0.40			
3.2 グレア対策					2.0	0.30			
1 昼光制御					2.0	1.00			
3.3 照度					3.0	0.15			
3.4 照明制御					3.0	0.25			
4 空気質環境					3.5	0.25			3.5
4.1 発生源対策					4.0	0.50			
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。				4.0	1.00			
4.2 換気					3.0	0.30			
1 換気量					3.0	0.33			
2 自然換気性能					3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33			
4.3 運用管理					3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視					3.0	0.50			
2 喫煙の制御					3.0	0.50			
Q2 サービス性能						0.30			2.8
1 機能性					2.1	0.40			2.1
1.1 機能性・使いやすさ					2.3	0.40			
1 広さ・収納性					3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応					1.0	0.33			
3 バリアフリー計画					3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性					2.0	0.30			
1 広さ感・景観					3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース					2.0	0.33			
3 内装計画					1.0	0.33			
1.3 維持管理					2.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計					2.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保					2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20			
2.4 信頼性					2.8	0.20			
1 空調・換気設備					3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20			
3 電気設備					3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20			
5 通信・情報設備					2.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高: 4.300 m, 4.885 m。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			2.8	0.63	-	-	2.8
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して92%。	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		2.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	アスカ紙工加須工場 新築工事	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	----------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.3	+	2.3	=	5.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.3
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

 :入力欄